

応援団 第62回定期演奏会 第60回紫紺の集い 観賞報告



2014年12月23日(火) 明治大学応援団の「第62回定期演奏会 第60回紫紺の集い」が江戸川区総合文化センターで開催されました。当地区父母会からは、24名が参加し、およそ1500席の会場は満席でした。定期演奏会は、吹奏楽部によるシンホニックスステージ、JESTERS ことチアリーディング部によるチアリーディングステージ、そして、吹奏楽部、チアリーディング部、ドリルスタッフの混成によるドリルステージの3部構成で、各部の厳しい練習の成果がたっぷりと披露されました。(写真上、石津常任指揮による曲目トウランドット演奏。下: JESTERS によるスタンツやダンス)



ドリルステージでは、吹奏楽部が演奏をしながら行進を行い、ガードチーフやチアリーダーが旗や踊りで彩を添える、マーチの完成形演技が披露されました。スポーツ応援では見る機会が少ない演目です。統率力が試される高度なパフォーマンスを、衣装や照明も駆使して、華やかな演出で楽しませてくれました。



応援指導班による、紫紺の集いは、高安団長指揮による校歌から始まりました。箱根駅伝からラグビー明早戦まで、この一年間多くの試合を応援してきた数々の応援歌を、団長や遠藤班長の指揮のもと、意気揚々と謳いあげました。



会場は、さながら神宮球場応援席。
「かつ飛ばせ～明治！」



プログラム終了後、高安団長よりお礼の挨拶がありました。そして、後輩達には、「挨拶のきちんと出来る人となれ。」と指導して来た事を話されました。

紫紺の集いは、勿論それでは終わりません。「ここからがむしろメインイベント。応援大会の始まりです。観客総立ちで一緒に歌い、踊り、拳を振って大盛況。これぞ応援団。」

応援団の皆さん、素敵な一年間をありがとうございました。

応援団撮影許可

